



広島県議会議員 (三原市・世羅郡区)

発行：伊藤英治事務所 〒723-0146 広島県三原市沼田東町納所 27
TEL：0848-60-9022 発行日：令和2年8月25日 討議資料

いとう英治 通信

令和2年
8月

第3号

ごあいさつ

コロナ禍により諸活動が制限され、窮屈な生活を余儀なくされておりますが、体調など崩されておられませんか？いかがお過ごしでしょうか。6月の移動自粛解除に危機感を持っておりましたが、予想通り7月に感染者が急増しました。経済活動と自粛のバランスを取ることは難しく、しばらくは混乱が続くと思われませんが、新薬が登場するまでは、一人ひとりが気をつけて、新しい生活様式を実践する事が重要だと考えています。

さて、2020年前半の活動を、ごく一部ではありますが、報告させて頂くため、伊藤英治通信 No.3 を発行いたしましたので、ご一読いただければ幸甚です。皆様の為の政治をコツコツと進めて参りますので、今後とも、ご指導ご鞭撻の程をよろしくお願いいたします。



リーダーシップを発揮されている中本議長を先頭に、議会一丸となって未来を切り拓いていきます。

河井夫妻による買収問題について

昨夏行われた、広島県の参議院選挙において、大規模な贈賄が県内全域で行われ、特に三原は市政始まって以来の混乱を起こし、政治不信や政治家への失望が地域全体に広がりました。広島県の政治に関わる一人として、まずは、皆様にお詫び申し上げます。いろんな憶測が飛び交い、心配いただいている方の話も聞きますので、申し上げておきます。私は、河井夫妻から1円も受け取っておりません。当然、溝手陣営からも受け取っておりません。このような説明をしなければならぬ事自体、情けない思いですし、事態収束の速い審判を望んでおります。

本件に対し、私といたしましては、議員は個人事業主ですので、各人が説明責任を果たす必要が有ることは言うまでもなく、どのような道を示すのかを含め、ご自身で判断されるべきと考えています。そのため、私が他の方の事実以外を申し述べるつもりはございませんので、ご了承ください。

2020年7月からの 議会での役割

生活福祉保険委員会 副委員長

1. 総合的な危機管理対策調査
2. 県民生活及び芸術文化振興対策調査
3. 生活環境及び自然環境保全対策調査
4. 社会福祉及び保険医療対策調査
5. 病院事業の経営状況調査

議会運営委員会 委員

1. 議会運営に関する調査
2. 次期議会の会期日程等
3. 議会の会議規則、委員会条例等に関する調査

創造的復興・県土強靱化対策特別委員会

1. 平成30年7月豪雨災害に係る復旧・復興の着実な実施に関する調査
2. 防災・減災、県土強靱化の推進に係る調査

地方創生研究調査会

広島県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進及び効果検証、人口減少抑制に向けた対策の推進、東京一極集中の是正、スポーツを核とした地域づくりの推進 等



写真で見る活動報告 **現地調査**



◀ 河川の変化

河川の浚渫後、水の引き込みができなくなったと相談を受け、現地で調査し、担当課に相談しました。



◀ ため池

昨年度から注視しているため池調査。ここにも使われていないため池があります。今後どのように管理していくか考えていかなければなりません。



本郷工業団地進捗説明会 ▶

本郷地区土地造成事業（2期・3期）土地造成工事に関する地元説明会。西日本豪雨災害で多くの被害が出た地域に建設中のため、様々な観点から活発な意見や質問が出ていました。貯水池や砂溜まりは、豪雨時において重要な役割を果たすため、特に気になる施設です。



地元市議との連携 ▶

被災河川の復旧や、治山ダムの堆積状況について、市議、地元住民と現地確認及び意見交換。地元に着した市議との連携による政治活動を行っています。

治山ダム



被災河川



▲ 取水調査

農繁期前に、豪雨災害後の取水について調査。堆積砂により思うように取水ができない事への解決に向け、現地において行政及び住民と意見交換しました。



課題解決には時間のかかる事が多いですが、少しでも前進するように動きます。

6月定例会 一般質問（要旨）

コロナ対策として、アクリル板に囲まれての一般質問でした。



【質問のはじめに】

中国武漢を発生源と目されている新型コロナウイルスは、疫病災害としてパンデミックを引き起こし、目に見えぬ恐怖を与え、経済の大きな衰退を招き、仕事や生活様式の見直しを余儀なくされています。そんな中、医療関係者を始め、

運送業や小売業など、日常生活に必要不可欠な仕事をしている、いわゆるエッセンシャルワーカーと呼ばれる皆様に、最上級の言葉をもってお礼を申し上げます。

1. 平成30年7月豪雨災害に関わる復旧事業について

問 遅々として進んでいない復旧工事の原因が、工事箇所が多いことや事業者不足であるのはわかっているが、県民生活に影響の大きい箇所について、どのような基準を持って振り分け、未完成の区域についての応急処置や避難の注意喚起についてどのように考えているのか？

知事 家屋損壊や道路の通行止め等が発生している、被災箇所と人家の距離が近接しているものなどから、優先して実施。復旧状況に応じて、県民の皆様の適切な避難行動につながるよう、市町による避難勧告等の発令判断の目安となる河川の基準水位を下げて運用している。

2. デジタル技術の活用による行政手続きの簡素化・効率化について

問 新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援等、増大する各種事務手続きについて、より先進的なデジタル技術を活用し、県民の利便性向上を図る必要があるのではないかと？

山田副知事 現在、様々な手続きを原則オンラインで出来るよう取り組みを勧めている。今後も業務プロセス全体を俯瞰した上で、デジタル技術を最大限活用していく。また、従来の行政手続きについても全庁的に棚卸しをし、順次オンライン化を勧めていく。

3. 人口減少地域でのスマートシティ化について

(1) 県内の全体像、あるべき姿について

問 中山間地域を始めとする人口減少の著しい地域では、地域社会のデジタル化とコンパクトシティ化が重要であり、地方の生き残る道と考える。県として、主体的に絵を描いてこそ、市町も本気で取り組むと考えるが、県内の全体像、あるべき姿をどのように描いているのか？

知事 県民生活向上のため「スーパー・

スマート広島県」を目指している。特に、人口減少地域においては、必要なサービス機能や居住を一定の地域にコンパクトに集約することで、地域特性や規模に応じた拠点を形成していく必要がある。この拠点間を結ぶ「コンパクト・プラス・ネットワーク型」のまちづくりに取り組む必要がある。デジタル技術の活用を通じて、地域のハンディを克服し持続可能性を高めていくことが重要であり、こうした全体像を市町と共有し、計画策定支援や課題に連携して取り組む。

(2) あるべき姿を踏まえたインフラ整備等について

問 あるべき姿を踏まえた拠点間が効率的に結ばれるインフラ整備について、広島県の玄関口である広島空港へのアクセス改善や広島中央フライトロードの延伸が必要と考える。スマートシティ化に関わる県内の全体像、あるべき姿を踏まえた交通インフラの整備を計画すべきではないか？

知事 道路整備計画2016において「広域的な交通・連携基盤の強化」や「持続可能なまちづくりに資する道路整備」などを政策の柱に掲げ、整備に取り組んでいる。

都市拠点と地域拠点間のネットワークを強化し「コンパクト・プラス・ネットワーク型」のまちづくりに取り組むことにより、経済発展や生活の豊かさの実現化が図られるよう次期道路整備計画を策定する中で検討していく。

4. 教育のICT化と個々の能力を引き出す教育について

日本の出生数がついに90万人を下回り、明治32年の統計開始以来過去最小であり、逆に人口は3倍になっている。その結果社会保障費は膨らみ続けるが、経済の発展なくして解決は難しい。その経済の発展は、子どもたちへの教育の成果と考えている。ICTの導入により、学力の底上げにつなげるだけでなく、突出した能力をさらに伸ばすことも可能である。今後、画一的な授業のあり方を変革させる考えがあるのか、個々の能力を最大限に引き出すための教育についてどのように考えているか？

教育長 本県では全国に先駆け「課題発見・解決学習」など「学びの変革」に取り組んでいる。画一的な授業ではなく、個別最適な学びの実現に向けて、生徒一人ひとりの学習進度や能力・関心等に応じた授業に取り組んでいる。情報収集・整理・分析する力や表現する力などを身に付けさせるため、ICT

を有効に活用していく。

5. 県産品の販路拡大のためのキャンペーンサイト「ひろしまモール」について

問 新型コロナウィルスの影響により販売に苦慮している多くの事業者の販売チャンネルの多様化を提供することは良いが、お客様目線のキャンペーンが必要。今の所（6月26日）は、販売サイトに掲載されている商品も少なく危機感を抱いている。売上目標 2.5 億円を担保する仕組みがあるのか？購買意欲を高める為の方策はあるのか？キャンペーン終了後のフォローアップは検討しているのか？

農林水産局長 県広報や新聞広告、職員が直接説明するなど、多くの事業者の参加に向けて取り組んでいる。消費者へは、インターネットを使えない方へ、カタログを送ることとしている。購買意欲の高揚では、送料無料、増量、値引きやクーポン付与など工夫を凝らしている。フォローアップについては、独自ECサイト開設支援やセミナー等を考えている。キャンペーン終了後のサイトのあり方や事業者支援は、相談窓口での情報やヒアリングにより課題を把握分析し、必要な取り組みを検討していく。

6. グローバル化した産業の国内回帰について

問 コロナによるグローバル化のリスクを回避するため国内回帰を考えている企業もあると聞かすが、これをチャンスと捉え、企業の動きを把握し、誘致を積極的に進める必要があるのではないか？

商工労働局長 国においては、一時補正予算により、国内回帰を促す点から生産拠点等の整備を進めるための補助金が創設された。県では、生産拠点の見直しやサプライチェーンの再構築の方針などについて、ヒアリングを行っている。これらの情報を元に、国の補助金や県の企業立地促進助成制度をインセンティブとして、積極的に営業活動を行う。オフィス誘致については、外資系企業が着実に本県に進出してきており、またIT系企業を中心として、地方進出を検討する動きが広がっていることから、国内外のIT系企業の誘致にもより一層取り組む。

7. 県民理解に配慮したカタカナ語の使用について

問 コロナにより、普段耳にしない、ロックダウン、パンデミック、クラスター、ソーシャルディスタンスなどが使わ

れ、違いのわかりにくい、リモートワークとテレワーク、デジタル会議とウェブミーティング等が使われている。文部科学省では「公共性の強い官庁や報道機関では、受け手の理解を助けるような配慮がなにより大事である」とあり、鳥取県では安易に公文書に用いないよう使用指針を定めている。県からの情報発信が適切に伝わるよう使用基準を定め、しっかり伝わっているか調査し、その結果を反映させていく必要があると思うが、どう考えているのか？

知事 国において、社会の多様化と日本語の変化に対応するため、文化庁の文化審議会国語分科会において、「公用文書作成の要項」見直しについて検討されている。県では、日常的に使用されていない外来語などは、わかりやすい言葉に変えるよう職員に周知している。カタカナ語が正しく理解されているかの直接的な調査は実施してないが、国の対応を参考にしつつ、要項に基づいた検討を行いたいと考えている。わかりやすく、理解されることを常に意識してカタカナ語を使用するよう努めてまいります。

【質問のわりに】

世界中のデジタル化の波は、コロナ対策を契機に益々加速すると思われませんが、逆に人は農業への憧れやキャンプの流行が示すとおり、無意識のうちに自然を求めており、大自然の摂理に合わせようとしている気がします。満月の夜にウミガメが産卵したり、犯罪や事故が多いという論文が世界中に存在したり、潮の満ち引きと人の行動の関係も多く研究されています。国が目指している社会の姿として提唱されている Society5.0 は、「仮想と現実を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会課題解決を両立する人間中心の社会」とあります。しかし、私は、人間と自然の共生社会こそが人類の目指すべき正しい社会であると考えます。広島県が人と自然との調和とバランスのとれた政策を進めていくことを願っています。



写真で見る活動報告 **議員インターンシップ受け入れ（主要な活動）**

議員インターンシッププログラムは、大学生が長期休暇の2ヶ月間、議員と行動を共にする事により、議員の仕事や思い、政治と社会のつながりを知る体験学習プログラムです。社会に対する知識や社会人としてのマナーを養い、社会へ貢献する意識を高める事を目的としています。

選挙の投票権が18歳からになったこともあり、大学生と政治について共に考える事は重要です。大学生を育てる教育を行うのではなく、共に育って行きたいと思っています。そのため、2ヶ月間様々な場所に行き、多くの方と話し、考え方を学び、未来の姿について考えていきました。

▼ 伊藤英治事務所にて 水害被害の説明後、意見換しました。



▼ 被災箇所訪問



土砂崩れ箇所を何箇所か周り、防災について意見交換しました。

▼ 三原城天守台跡 現地にて三原の歴史を説明しました。



▼ 県議会2月定例会の傍聴 控室にて予習中。



▼ 中本議長表敬訪問 県政について説明いただいた後、意見交換しました。



▼ 旧広島陸軍被服支廠（被爆建物）



県の提案している保存や解体について、市民団体から意見が届いており、引き続き議論していく事になっている本建物を見学。県の提案について説明し、実際どのように考えるのが広島の未来にとって最も良いのか意見交換しました。

▼ 広島高速5号線

広島駅北側

トンネルの反対側



追加で87億円必要となった工事について、現場を見ながら、その必要性と広島への影響について意見交換しました。

▼ブレインストーミング※1



KJ法※2を用いたブレインストーミング※1により、未来のまちの姿を考察。

※1 ブレインストーミング…限った時間内に自由に話し合っ、いろいろなアイデアを出す、立案企画の手法

※2 KJ法…文化人類学者の川喜田二郎がデータをまとめるために考案した手法

▼ユニタール事務所訪問



国連訓練調査研究所（ユニタール）は、国連システム内の独立トレーニング機関であり、世界中で年間 500 あまりのコース、セミナーやワークショップ提供と能力開発に関する研究活動を行っており、約 40,000 人にサービスを提供しています。現代の社会が直面している様々な課題を効果的に克服できるように、ユニタールは研修や能力開発機会提供を通じて、個人、政府や組織を支援します。

隈元（くまもと）所長から説明を受け、意見交換を行いました。



▼世羅町長表敬訪問



世羅町のまちづくりについて、農業や観光を中心に世羅町の魅力の説明を受け、意見交換しました。

▼世羅ワイナリー訪問



ワインの製造について説明を受け、世羅経済や観光への影響について意見交換しました。

▼学生の考えた「未来の広島市」の発表



▼道の駅世羅訪問



道の駅世羅で、観光や特産品について意見交換しました。

▼3グループ共同発表会



出原県議（福山）、正田市議（三原）のグループと政策発表会を企画・実施しました。若い人の考えや意見は、その世代の政策を考える上で、非常に重要です。各チームの全く異なる視点からのアプローチは、大いに参考になりました。

写真で見る活動報告 **地域とともに、支援・活動・参加**

JCI 広島ブロック協議会の会長を三原青年会議所から輩出していることもあり、湯崎知事と中本議長との面談を調整させて頂きました。可愛い後輩たちの青年会議所活動に期待しています。又、若い経済人である青年会議所メンバーのまちづくり活動を支援します。



▼ 知事との面談を調整、同行



▼ 議長との面談を調整、同行



▼ JCI のコロナ対策提言書を県へ提出

JCI 広島ブロック会長により、コロナ対策提言書を広島県の知事代理（山田副知事）に提出するため、面会調整、同行しました。



▼ チャリティコンサート



2014年の広島豪雨災害から続くチャリティーコンサートを応援しています。立場上、寄付はできませんが、チケットを購入や参加することで応援してきました。高潔なロック魂を感じています。今後も地域で活動する方々を応援してまいります。



▼ コミセン祭り



多くの同好会が存在し、多くの方々が生き生きとされています。習い事の種類も多く、作品展示や即売、ステージでは日頃の成果を発揮されていました。地域にとって人が生き生きと過ごすことは、非常に大事なことです。裏方のご苦労あつての祭りです。感謝します。

▼ とんど



各所で行われているとんど巻ですが、伝統的な地域行事として有名です。地域の高齢化や若い人の参加が少なくなり、姿を消しつつありますが、地域力向上の一つとして伝統を守りたいと思っています。都会には無い魅力だと思っていますが、人の考え方や生活様式が変化する中、伝統を残していくことが難しい課題の一つになっています。

▼ 植樹 高坂 もみじの里



▲ 植樹 うきしろ桜山会



2018年西日本豪雨災害で傷んだ山に、桜を植える事業に参加しました。復旧は道半ばですが、ボランティアの皆さんがこのような形で災害復旧に取り組まれている事に感謝します。

▼ 春祈禱神楽



大和の神楽団をよばれた地域に行き、舞を見ながら意見交換しました。現代社会においては余興が多く、過ごし方も多様となりました。しかしながら、伝統の舞により古事記や日本書紀の世界に触れる機会を持つことは、日本人として大事です。地域の集まりの場という側面もあり、五穀豊穰、家内安全等を含め様々な形でお祈りし奉納する地域文化を応援しています。

▼ 神明市



三原に春の訪れを迎える神明市（しんめいさん）では、保護司としての見回りや地域の祭りや文化について考え、意見交換しています。実は、高齢化や補助の問題等大きな岐路に立っており、行政の支援のあり方についての意見交換は生々しいものでした。お世話をする方々のご苦勞を考えると、運営方法自体を考えていく必要もあると思います。

広島県の予算の状況（一般会計）

税金は国の政策、国際情勢、災害等の影響を受けますが、安定収入の確保に向けて、より知恵を絞っていく必要があります。

2020年度当初予算 1兆905億円（災害復旧等により 対前年比+354億円）

4月補正予算 +423億円（コロナウイルス感染拡大防止等）

5月補正予算 +17億円（事業継続、売上減少対策等）

5月追加補正 +24億円（感染防止、病床確保等）

6月補正予算 +719億円（感染防止、医療支援、等）

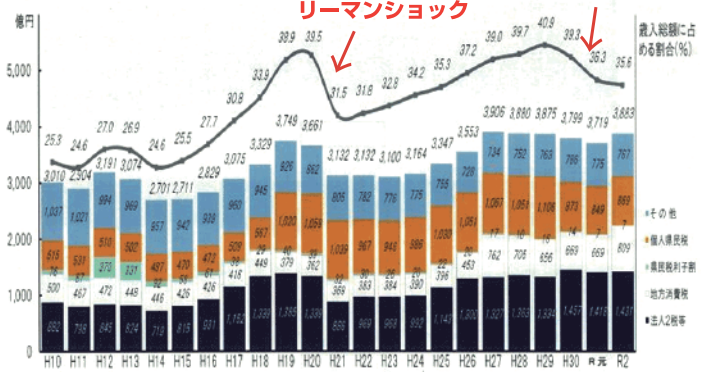
⇒ 1兆2,063億円に拡大

社会保障費の増大は、大きな課題となっています。経済活動や税金とセットで対応を考えていくべきと思います。



平成30年豪雨災害からの復興やコロナ対策により、かなり厳しい財政状況となっています。国の支援も必要ですが、経済を止めず感染者を拡大させないためには、一人ひとりが新しい生活様式に順応し、薬が出来るまでは、これを標準的な生活様式と割り切るしかありません。窮屈かもしれませんが、正しく恐れましょう。私は、人の環境順応能力を信じています。

県税収入等の推移



社会保障関係費の推移



伊藤英治の情報発信

Facebook【ほぼ毎日更新】
www.facebook.com/itoeiji55

ブログ【不定期更新】
ameblo.jp/itoeiji

ホームページ【不定期更新】
www.itoeiji.com

いとう英治通信他【不定期発行】
年2~3回発行

YouTube 動画配信【不定期更新】
youtube.com/user/itoeiji55

メールマガジン【不定期発行】
登録は itoito@mail3.piko-piko.net に空メール



伊藤英治 検索
ホームページから Facebook、ブログ、YouTube に移動できます



県政活動報告会（2020年3月）



▲ 世羅

なぜ県議になったのか、当選から半年の間どのような活動をしてきたのか説明後、意見交換しました。この後、コロナ感染拡大により開催を中断しました。

三原 ▶



皆様の声を受け止め、伝えます！

「皆様の声と想いを、県政に伝えてまいります」と選挙戦で訴えかけて参りました。この約束を果たすべく、皆様の元に参りますので、ご連絡を頂ければ幸甚です。

県政報告会・ミニ集会・ご意見聴取・意見交換会 等

グループ・集会・企業あるいは地域団体など、どこへでも参りますので、

ご連絡の上日程調整をさせていただきます。※コロナ対策を行います（消毒液、体温計、マスクを用意します）



皆様のご意見・ご要望をお寄せください

☎ 0828-60-9022 ✉ info@itoeiji.com

いとう英治ホームページでは、ご意見・ご要望を送信画面よりお送りいただけます。また、より詳しい情報、日々の活動も随時ご覧いただけます。ぜひご活用ください。

メール ホームページ

